

競技ルール（やく札）について

1. これまでのおさらい

（1）から札（第 9 回会議決定事項）

音	読み句	題 材
つ	作り手の 笑顔あふれる 農のまち	農のあるまちづくり

（2）やく札（第 10 回会議）

「たたき台（案）」（第 10 回会議資料 1）に対する各委員の意見聴取。

※以下、会議録から抜粋（一部要約、改編）

■やく札の種類と枚数について

事務局 やく札は、子供たちが特に一生懸命に覚える札であるので、子供たちに積極的に覚えてほしい、伝えていきたいもの、という視点で選定していただきたい。

委 員 4 枚だとハードルが高くなるので、シンプルに 1 種類で 3 枚が良いと思う。審判の負担という視点で考えても、役札の種類は少ない方が良いのではないかな。

事務局 本日欠席の委員からは、「仮に基本ルールとして複数のやく札を設定しておいても、実際に個々の大会のルールで、使用する役札の数を変えれば対応できる。選択肢としての幅を持たせておく、という趣旨で、2 種類のやく札を設定しておいても良いのではないかな」との意見を預かっている。

■やく札の「たたき台（案）」について

委 員 人物札が良いと思う。やく札の絵札は、パッケージのデザインに採用されるので、デザイン的にその方が見栄えがすると思う。

委 員 私は、道徳教材の札が良いと思う。※同様意見あり

委 員 子供たちに最低限覚えていてほしいという視点に立つと、現在と同じ町の木と花、巨峰のシンボル札でも良いのかもしれないが、自然札や賑わい札も捨てがたい。自然札→山崎山、姫宮落川、宝生院大イチョウ

委 員 現行のかるたと同じ（シンボル札）で良いと思う。※同様意見あり

委 員 もし、変えるということであれば、子供たちに内容を理解されている道徳教材の札が良いと思う。

委 員 子供たちにとって親しみやすいのは、こども札だと思う。一方で、初代かるたのシンボル札もそれなりの意味があると思う。

委 員 進修館を入れたいと思っていたが、道徳教材札も捨てがたい。一つに絞り込めない状況。その意味では、二つ設定しておいても良いのかな、と思っている。

2. 本日の審議事項

(1) やく札の種類と枚数

これまでの議事を踏まえると、

- ・種類… 1種類か2種類
- ・枚数… 3枚

(2) やく札

「たたき台 (案)」※第10回会議資料1を踏まえ、前回会議の委員意見で取り上げられたもの。

■シンボル札 (初代かるたと同じ題材)

て	天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木	シイガシ
む	むらさきの 甘くておいしい 巨峰の実	巨峰
は	ハクモクレン 白く輝く 町の花	ハクモクレン

■道徳教材札

あ	憧れと 夢がつまった どんぐりピアノ	どんぐりピアノ
や	山崎山 自然を守ろう トラスト運動	山崎山
を	日本語と 英語をつないだ 島村盛助	島村盛助

■自然札

そ	そびえたつ イチョウかがやく 宝生院	大イチョウ
や	山崎山 自然を守ろう トラスト運動	山崎山
る	るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落	姫宮落川

■こども札

え	SLの 汽笛が響く 日工大	日本工業大学
さ	さあ行くぞ 町のヒーロー ハナレンジャー	ハナレンジャー
ん	楽しいな わくわくどきどき 動物園	東武動物公園

■進修館+〇〇の組み合わせ

い	憩いの場 町のシンボル 進修館	進修館
め	めぐりゆく 季節感じる 新しい村	新しい村
ら	ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション	イルミネーション